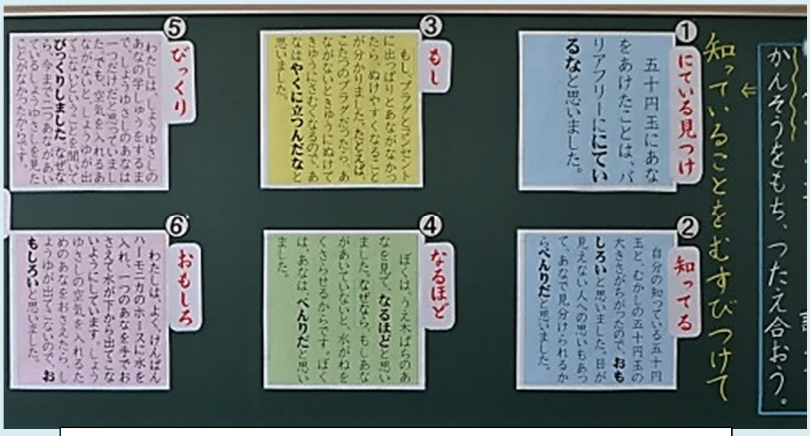
学　年	教科等	単元名	日　　時
第２学年	国語科	やくわりを見つけてつたえ合おう （教材：あなのやくわり）	令和２年１月 31 日（金） 公開研究会（公開授業Ⅲ）

言葉にかかわらせるための発問の工夫

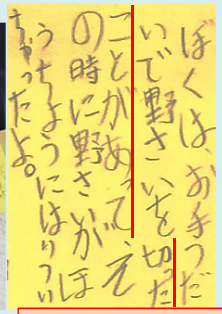
本時は、15 時間の単元計画の 14 時間目。教材「あなのやくわり」を読んで感想をもった後、子ども達が見付けた穴の役割についてそれぞれ文章を書き、それを読んで感想をもつ時間である。単元をとおして身に付けてきた「文章と知っていることとを結び付けて感想をもつ力」を発揮させるための発問の工夫である。

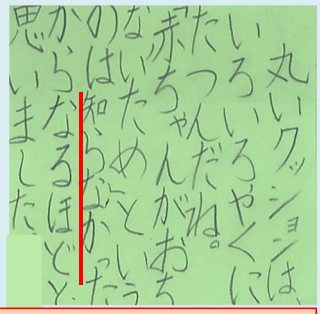
T：感想とは、何ですか。
C：考えたこと、思ったことです。
T：友達に伝えるのは、どのような感想でも、よいのですか。
C：いいえ。
T：どのような感想を書くことができればよいのですか。
C：知っていることと結び付けた感想です。



T：「あなのやくわり」を読んだ感想に名前を付けましたね。
C：「にている見つけ」パターンです。
C：「知ってる」パターンです。

自分の知識や経験と結び付けた感想に名前を付けて活用する

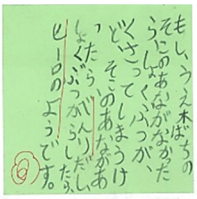


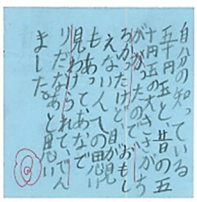


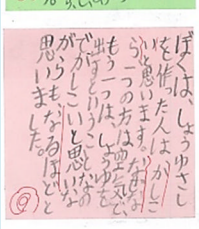
名前を付けた感想を活用したもの

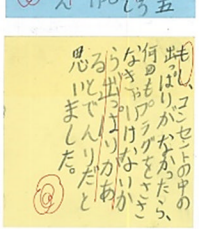
言葉の力をメタ認知させる手立て

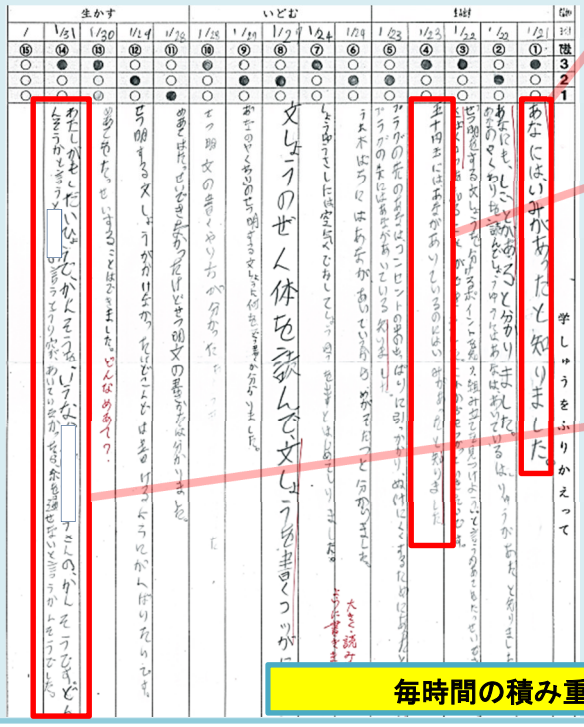
右は、「ふりかえりカード」の内容である。毎時間、本時のめあてが達成できたか３段階でふりかえり、学習の感想を記述させた。
カードの裏面には、教材「あなのやくわり」を読んで付箋紙に書いた感想を貼り付けた。
これらは、学習を進めていくなかで、どのような学びをしてきたか、どのような変容があったかを自覚させるための手立てである。











第１時の記述
あなには、いみがあったと知りました。

第４時の記述
50 円玉には、あながあいているのにはいみがあったと知りました。

第 14 時の記述（本時）
わたしがもしだいひょうで、かんそうをいうなら、○○さんのかんそうです。どのようなかんそうかというと、「△△さんのいうとおり、あながあいていなかったら、糸を通せない」というかんそうです。

変容を捉えることのできる子どもの記述

毎時間の積み重ねで自分の変容を自覚する

授業をふりかえって・・・

○　多くの子どもが仲間の文章を読み、自分の知識や経験と結び付けて感想を書くことができた。感想を書くことが苦手だった子どもも、感想をもち、書くことができた。
●　教師が子どもの変容を捉えていても、子どもがそれを十分に自覚していない。学びの成果を全体で共有することが不十分であった。

御意見・御質問はこちら（研究部アドレス）
miyafuken@cc.miyazaki-u.ac.jp

授業実践計画

○　単元指導計画（15 時間）

段階	主な学習活動及び学習内容 ※ 吹き出しは予想される子どもの問題意識や目的意識	教師のかかわり	具体的な評価規準
生み出す(1)	1　単元のゴールの姿からめあてを設定し、学習の見通しをもつ。　＜１時間＞ ○　言葉の力 ◇　文章と知っていることとを結び付けて感想をもつ力 ○　単元のめあて 文章と知っていることとを結び付けて、感想を伝え合おう。 ○　単元のゴール：「穴の役割発表会」 そういえば、あの穴は何のためにあいているのかな。「あなのやくわり」を読んで、友達と伝え合いたいな。 ○　学習計画	○　絵本を基にシルエットクイズを出題し、何の穴か考えさせることで、身近な穴への関心を高められるようにする。また、「この穴は、何のためにあいているのでしょう。」と発問することで、自分の知識や経験と結び付けて役割を考えられるようにする。 ○　クイズに対して自分の知識や経験と結び付けている感想を取り上げ、称賛する。そうすることで、単元のめあてを設定し、達成しようとする意欲を高められるようにする。	○　身近な穴の役割を見付け、感想を伝え合うことに関心をもち、楽しんで文章を読んだり、考えを伝え合ったりしようとする。　（態度） 【ふりかえりカード】
挑む(9)	2　教材を通読し、語句の意味や新出漢字を確認し、構成を確かめる。　＜２時間＞ ○　教材の通読 ○　新出漢字と語句の意味 ○　教材の構成と内容の大体 「あなのやくわり」も「いろいろなふね」のように分けることができるのかな。分けたら、どのようなよさがあるのかな。	○　文章全体を１枚のプリントにまとめた第１学年教材「いろいろなふね」を、「始め」「中」「終わり」に分けさせることで、「あなのやくわり」の構成を捉える視点をもてるようにする。	○　身近なことを表す語句の量を増し、説明している。　（知・技） 【ノート・観察】
	3　穴の役割の具体例を読み、説明の仕方に気付き、感想を伝え合う。　＜５時間＞ ○　50 円玉の穴の役割 50 円玉の穴は、何のためにあいているのかな。 ○　プラグの穴の役割 プラグの穴は、何のためにあいているのかな。 ○　植木鉢の穴の役割 植木鉢の穴は、何のためにあいているのかな。 ○　醤油差しの穴の役割 醤油差しの穴は、何のためにあいているのかな。 ○　教材文全体 50 円玉の穴に、こんな役割があるとは知らなかった。考えもしなかったな。自分も身の回りの穴の役割を見付けて説明したいな。	○　教材の具体例を読む段階において、重要な語や文を考えて選び出したり、知識や経験と結び付けて感想をもったりすることができるように、次のような手立てを講じる。 ①　１文め「○○の△△には、あながあいています。」の表現に着目させることで、まず穴の空いている場所を説明していることを捉えられるようにする。 ②　２文め「これは、□□ためのあなです。」の表現に着目させることで、穴のあいている場所の次に、役割を説明していることを捉えられるようにする。 ③　３文め以降について、「もう役割を説明したのだから、無くてもいいのではないかな。」と発問する。そうすることで、３文め以降の補足的な文章があるからこそ、自分の知識や経験と結び付け、穴の役割を捉えやすくなることに気付くことができるようにする。 ○　ふりかえりカードを用い、めあてが達成できたかを３段階でふりかえり、学習の感想を書かせる。そのなかで、知識や経験と結び付けたり、仲間とかかわったりしている内容を称賛することで、子どもが自分の学びを実感することができるようにする。	○　「ため」には理由を表す働き、「このように」にはまとめる働きがあることに気付き、使っている。　（知・技） 【ノート】 ○　文章と自分の知識や経験とを結び付けて、穴の役割を捉えている。 （思・判・表） 【ノート・観察】
	4　身の回りの穴の役割について考え、どの穴の役割について説明するか決める。　＜２時間＞ 穴杓子に穴があることに気付いたから、その役割を調べて説明したいな。	○　生活のなかで見付けた穴を学級で集め、分類して付箋に貼り、掲示する。そうすることで、どの穴について調べ、説明するか決められるようにするとともに、身近なことを表す語句の量を増し、説明する際に使うことができるようにする。	
生かす(5) 本時 4／5	5　身近な穴の役割について説明する文章を書く。　＜３時間＞ 身の回りの穴の役割について文章を書くには、どのようにすればよいかな。 6　「穴の役割発表会」を行い、文章についての感想を伝え合う。　＜２時間＞ ○○さんの穴杓子についての文章は、なるほどと思ったな。ぼくも、水炊きを食べるときに使ったことがあるな。便利だよね。	○　単元で身に付ける言葉の力は「文章と知っていることとを結び付けて感想をもつ力」であることを押さえたうえで、互いの文章を読ませる。そうすることで、感想を交流したときに、言葉の力が身に付いたことを自覚できるようにする。	○　仲間の書いた文章を読み、自分の知識や経験と結び付けて感想を書いている。 （思・判・表） 【付箋紙・観察】

○　本時の目標

身近な穴の役割について書かれた仲間の文章を読み、自分の知識や経験と結び付けて感想をもつことができる。

○　指導過程

学習活動及び学習内容	教師のかかわり
1　本時の学習について話し合う。 ○　学習計画での本時の位置付け ○　本時のめあて 友達の文章を読んで、感想をもち、伝え合おう。 ○　感想の例 ・「穴の謎が解けてすっきりした。」 ・「～に似ていると思った。」 ・「なるほど、便利だと思った。」　　等 ○　学習の流れ ・　班→全体→ふりかえり	○　めあてを確認したうえで、「どのような感想をもつことができればよいのかな。」と発問することで、仲間が書いた文章と自分の知識や経験とを結び付けた感想であることを確認できるようにする。 ○　これまで子どもがふりかえりカードに書いた感想を例示することで、知識や経験と結び付けた感想を書くことへの見通しをもつことができるようにする。
2　班で文章を読み合い、感想を交流する。 ①　一人ずつ文章を読む ②　感想をもつ ③　付箋紙に感想を書く ④　発表者の文章に貼る 6　1 5　2 4　3 ・　班のなかで、原稿用紙を回しながら文章を読む。 ・　読み終えたら、自分の色の付箋紙に感想を書く。 ・　付箋紙を、原稿用紙の下部に貼る。 〈例〉 《はじめ》 わたしたちの身の回りには、穴があいている物がたくさんあります。穴は、何のためにあいているのでしょうか。（問い） 《中》 **穴杓子（物）**の**丸い部分の底（場所）**には、穴があいています。これは、**汁物から具だけをすくうため（役割）**の穴です。普通のお玉は、汁も一緒にすくうことができます。でも、汁が欲しくない人もいます。穴があるおかげで、汁は下に落ち、欲しい具だけが残る**のです**。（補足） また… 《終わり》 このように、穴には、いろいろな役割があります。 ・「普通のお玉は知っていたけど、穴杓子の名前は初めて知ることができました。」 ・「鍋料理を食べるときに、具だけを取ることができるので、『なるほど。便利だな。』と思いました。」 ・「普通のお玉と比べて、穴杓子のよさを説明していたところがおもしろかったです。」 ⑤　代表を決める	○　班の中で一人一人色が異なる付箋紙に感想を書かせ、互いの原稿用紙に貼らせる。そうすることで、受け取った子どもが多くの感想にふれ、客観的に言葉の力が身に付いたことを自覚できるようにする。 ○　机間指導のなかで仲間の声を聞こうとしたり、感想を伝えようとしたりする子どもを称賛し、周りに広げることで、感想を伝え合おうとする意欲を高めることができるようにする。 ○　感想を書くことに難しさを感じている子どもには、以下のような手立てを講じる。そうすることで、自分の知識や経験を想起し、感想をもち、付箋紙に書くことができるようにする。 ・　「見たことあるかな。」「使ったことあるかな。」等と問う。 ・　「この穴がなかったら、どうなるのかな。」と問う。 ・　教師の感想を口頭で伝える。
3　班の代表が文章を発表し、感想を交流する。 ○　発表（１班→２班→３班→４班→５班→６班）	○　全体で文章に対する感想を伝え合わせることで、文章と知識や経験とを結び付けて感想をもつことができたか確かめられるようにする。
4　本時の学びをふりかえる。 ○　ふりかえる視点 ・　本時のめあてが達成できたか	○　ふりかえりカードを用いて、めあてが達成できたか３段階でふりかえり、学習の感想を書かせる。そのなかで、知識や経験と結び付けたり、仲間とかかわったりしている内容を称賛し、全体に伝えることで、子どもが自分の学びを実感できるようにする。

○　本時の評価規準

仲間の書いた文章を読み、自分の知識や経験と結び付けて感想を書いている。

（思考・判断・表現）【付箋紙・観察】

補助資料①　教材分析

あなのやくわり（東京書籍二年）	構成	始め	中			終わり
	意味	話題提示	50円玉の穴の役割	プラグの穴の役割	植木鉢の穴の役割	醤油差しの穴の役割	まとめ
	段落	P108ℓ4←P108ℓ1	P109ℓ10←P109ℓ1	P110ℓ11←P110ℓ1	P111ℓ11←P111ℓ1	P113ℓ2←P112ℓ1	P113ℓ7←P113ℓ3
	形式段落	①	②	③	④	⑤	⑥
要旨：我々の身の回りにある穴には、それぞれ様々な役割がある。身の回りの穴を見付けて、役割を考えてほしい。	文章構成	○わたしたちのみの回りには、あなのあいているものがたくさんあります。 ○**あなは、何のためにあいているのでしょうか。（全体を貫く問い）** ○あなのやくわりを考えてみましょう。	○**五十円玉（物）のまん中（場所）**には、あながあいています。 ○これは、**さわったときに百円玉とくべつするため（役割）**のあなです。 ・むかしの五十円玉は、百円玉と同じくらいの大きさだったので、まちがえる人がいたのです。 ・そこで、五十円玉にあなをあけ、さわったときにくべつできるようにしたのです。	○コンセントにさしこむ**プラグ（物）の先（場所）**には、あながあいています。 ○これは、**出っぱりをひっかけるため（役割）**のあなです。 ・コンセントの中には出っぱりがあり、それが、プラグのあなに引っかかるようになっています。 ・このことにより、プラグがぬけにくくなるのです。	○**うえ木ばち（物）のそこ（場所）**には、あながあいています。 ○これは、**いらない水を外に出すため（役割）**のあなです。 ・たくさん水をやったときに、あながないと、水が下の方にたまってしまいます。 ・水が長い間たまっていると、ねがくさることがあるのです。	○**しょうゆさし（物）**には、二つのあながあいているものがあります。 ○二つのうち、一つは、**しょうゆを出すため（役割）**のあなで、もう一つは、**空気が入るため（役割）**のあなです。 ・しょうゆは、空気の力でおされて出てきます。 ・ですから、空気が入るあながひつようなのです。 ・あなが一つしかないと、しょうゆをおし出す空気が入らないので、しょうゆが出なくなってしまうのです。	○**このように**、あなには、いろいろなやくわりがあります。 ○このほかにも、みの回りにはあなのあいているものがたくさんあります。 ○みなさんもあなをさがして、どんなやくわりがあるか考えてみましょう。**（呼び掛け）**
主な発問（言語活動）		○身の回りの穴は、何のためにあいているのでしょうか。	○五十円玉の穴は、何のためにあいているのでしょうか。（身の回りの穴の役割を伝え合う）	○プラグの先の穴は、何のためにあいているのでしょうか。（身の回りの穴の役割を伝え合う）	○植木鉢の底の穴は、何のためにあいているのでしょうか。（身の回りの穴の役割を伝え合う）	○醤油差しの二つの穴は、何のためにあいているのでしょうか。（身の回りの穴の役割を伝え合う）	○この他に、身の回りの穴にはどのような役割があるのでしょうか。（身の回りの穴の役割を伝え合う）

補助資料②　問いの一覧表　　「教材：あなのやくわり」（東京書籍２年下）

本一覧表は、教材文を基に考えた問いである。子どものつぶやきを生んだり、想像を広げたりする発問等とは異なる。

視点	問　　い	問いに対するこたえ	本時の主となる発問
when いつ	（穴のあいている物は）いつ使ったか。	（子どもの生活場面）	
	50 円玉の穴があいたのは、いつか。	むかし。	
where どこで どこに	（穴のあいている物は）どこにあるか。	（子どもの生活場面）	
	（物の）どこに、穴があいているか。	（それぞれの物による）	
	「始め」の問い「あなは、何のためにあいているのでしょうか。」の答えは、どこにあるか。	中。	
who だれが	主に誰が、（穴のあいている物）を使うか。	（家族や地域の人等）	
whom だれに	穴の役割を、誰にたずねるか。	（家族や地域の人等）	
what 何を 何が 何に	醤油差しの穴からは、何が出るか。	醤油。	
	醤油差しの穴からは、何が入るか。	空気。	
	穴のあいている物は、何があるか。	（穴のあいている物）	
why なぜ	50 円玉の穴は、何のために（なぜ）あいているのか。	触ったときに、100 円玉と区別するため。	
	プラグの穴は、何のために（なぜ）あいているのか。	出っ張りを引っ掛けるため。	
	植木鉢の穴は、何のために（なぜ）あいているのか。	いらない水を外に出すため。	
	醤油差しの穴は、何のために（なぜ）あいているのか。	醤油を出したり、空気を入れたりするため。	
	（穴のあいている物）の穴は、何のために（なぜ）あいているのか。	（それぞれの物による）	
which どちらが どちらに	50 円玉と 100 円玉では、触ったときに、どちらが分かりやすいか。	50 円玉（子どもによる）	
how どのように	コンセントの中は、どのようになっているか。	出っ張りがある。	
	50 円玉に穴がないと、どうなるか。	100 円玉との区別が大変になる。	
	プラグの先に穴がないと、どうなるか。	差し込んだ時に抜けやすくなる。	
	植木鉢の底に穴がないと、どうなるか。	植物の根が腐る。	
	醤油差しの穴は２つないと、どうなるか。	醤油が出ない。	
	どのような感想をもつことができればよいのか。	文章と知っていることとを結び付けた感想。	どのような感想をもつことができればよいのかな。
how many どのくらい いくつ	「あなのやくわり」は、大きく、いくつに分けられるか。	３つ。	